

磁気テープ
利用のしおり
シリーズ

80

平成12年(2000年)
日米国際産業連関表
ファイル利用のしおり

財団法人 経済産業調査会
経済統計情報センター

〒104-0061 東京都中央区銀座2丁目8番9号
(木挽館銀座ビル)

TEL (03)3535-5348

FAX (03)3535-5347

U R L <http://www.chosakai.or.jp/center/>

(2005.8.8)

目 次

1. 平成12年(2000年)日米国際産業連関表のデータ提供について	1
2. CD-ROMの仕様	2
3. ファイル仕様	2
(1) 取引額表	2
(2) 逆行列係数表、投入係数表	3
(3) 輸出入マトリックス	4
(4) 部門分類コード表	5
4. ファイルの分割提供について	6
5. 部門分類コード体系及びコード表	
(1) コード体系	7
列コード	7
行コード	8
(2) 日米共通部門分類コード表	9
(3) 輸出入マトリックス用列(国・地域名)コード表	12
[参考] 日米国際産業連関表の表形式について	
図 - 1 取引額表(投入係数表)	13
図 - 2 逆行列係数表	14
図 - 3 輸出入マトリックス	15

1. 平成12年(2000年)日米国際産業連関表のデータ提供について

経済産業省では、1986年度から政府としては世界で初めて1985年を対象にした「国際産業連関表」の作成に取り組み、日米表、日欧二国間表そしてこれらの集大成である「1985年日・米・EC・アジア国際産業連関表」を1993年に公表しました。

引き続き、1990年についても同様の作業を行い、日米表、日欧二国間表の公表に続き、1998年に「1990年日・米・EU・アジア国際産業連関表」を公表しました。

平成7年(1995年)表に関しては、1999年秋に「平成7年日米国際産業連関表(速報)」、2000年秋に「同(確報)」が公表されました。

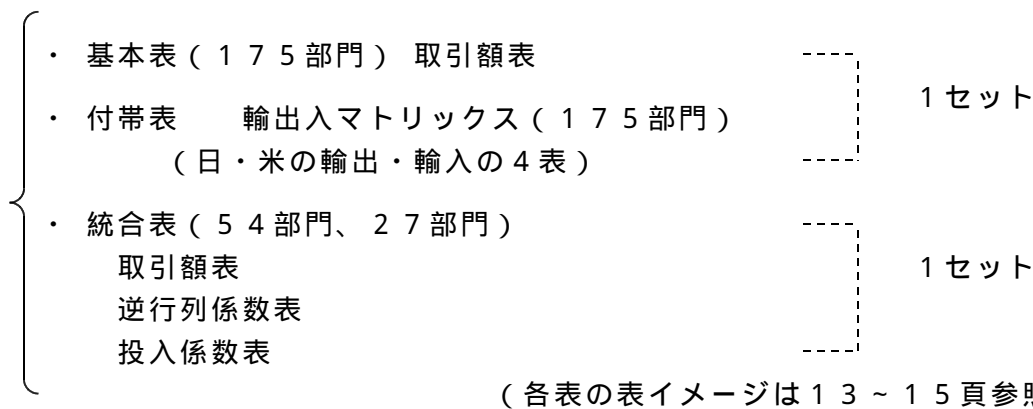
さらに経済産業省では、平成12年(2000年)表の作成に着手し、2005年5月に「平成12年日米国際産業連関表」(以下「日米表」と略記)が公表されました(今回は速報は作成されず確報のみ)。

この日米表は、日米両国における各産業の生産活動が、国内及び国外のどのような産業または最終需要との関連で行われているかを明らかにするため、2000年において日米両国内及び両国間で行われた全ての財・サービスの取引を一覧表にまとめたものです。

当センターでは、この日米表をCD-ROM(Write-once)等により、以下の2セットで提供します(今回は、投入係数表を新たに提供)。

参考情報として、部門分類コード表も別途提供します。

また、これらセットごとの一括提供のほか、各ファイルごとの分割提供も順次行います(分割提供に関しては6頁参照)。



[日米表利用上の留意点]

- ・ 取引額表及び付帯表の価格はドル表示で、単位は10万ドルです。
円/ドル換算は、IMFの平成12年の対ドル平均為替レート107.77円/ドルで行われています。
- ・ 各商品の価格は、日本商品については日本の生産者価格(メーカー蔵出し価格)で、米国商品については米国の生産者価格(同)で評価されています。
その他世界(ROW)との取引は、輸出が生産者価格、輸入は通関輸入価格(CIF)です。
- ・ 基本表の部門分類の数は、列・行ともに175部門で、同一産業間の国内取引(自部門投入)をゼロにしています。この基本表をもとに、54部門及び27部門の統合表が作成されています。

2. CD-ROMの仕様

物理フォーマット：ISO9660
 使用コード：ASCIIコード
 ファイル形式；固定長ファイル

3. ファイル仕様

(1) 取引額表

レコードサイズ；200バイト+2バイト（復帰改行）

ソートキー；1.列コード 2.行コード の順に昇順ソート

データ表示方法；

- ・部門分類コードは、列・行ともにエリアコードと部門コードからなり、いずれも右詰め・前ゼロの表示
- ・データ1項目はいずれも1.2バイトで、最上位の1バイトが正負の符号エリア、以下の11バイトが数値エリア
- ・数値エリアは右詰め・前ゼロの表示

{ 正の場合 ... 符号エリアは「0」の表示（000840199543）
 { 負の場合 ... 符号エリアは「-」の表示（-00001358461）

フォーマット；

（金額単位：10万ドル）

部門分類コード						取 引 額 (12)	ブ ラ ン ク (160)
列コード		ブ ラ ン ク (1)	行コード		ブ ラ ン ク (1)		
エ リ ア コ ー ド (3)	部 門 コ ー ド (3)		エ リ ア コ ー ド (4)	部 門 コ ー ド (3)			
1		7	8		15	16	28

整 理 コ ー ド (13)							
部 門 数	デ タ の 種 類	統 計 の 種 類	I / O の 種 類	デ タ 年	コ ー ド 年	価 格 年	識 別 コ ー ド
"N"	"1"	"1"	"k"	"00"	"00"	"00"	"8"
188	191	192	193	194	196	198	200

部門分類コードは、7頁以降のコード体系及びコード表を参照

(注1) 下段の数字は各アイテムの左端を示し、()内の数字は各アイテムのバイト数を示します。" "内の数字は当該エリアに収納されている数値です。
次頁以降のフォーマットも同様の表示です。

(注2) 列・行の1要素ごとに1レコードを形成し、部門間で取引の行われていない数値ゼロのレコードは、ファイルに入っていない。

(注3) 整理コードについて

・部門数；内生部門の列部門数を右詰め・前ゼロで表示
N = (基本表) 175 (統合表) 054,027

・データの種類；産業連関表の具体的な表の種類を表示

{	"1"	取引額表
	"2"	逆行列係数表
	"7"	輸出入マトリックス
	"a"	投入係数表(今回初めて設定)

・統計の種類；"1"は産業連関表を示す。

・I/Oの種類；産業連関表の種類を示し、"k"は日米国際産業連関表(確報)を示す。

・データ年；データの年次(西暦年下2桁)を表示("00"は2000年を示す。)

・コード年；部門分類コードの年次(西暦年下2桁)を表示(同上)

・価格年；価格評価の年次(西暦年下2桁)を表示(同上)

(2) 逆行列係数表、投入係数表

レコードサイズ；70バイト+2バイト(復帰改行)

ソートキー；1.列コードー連番号 2.行コードー連番号 の順に昇順ソート

データ表示方法；

・部門分類コードは、いずれも右詰め・前ゼロの表示

・データ1項目はいずれも1.2バイトで、最上位の1バイトが正負の符号エリア、以下の1.1バイトが数値エリア(逆行列係数の行和・列和の桁数の関係上、今回、これまでの1.0バイトを1.2バイトに変更)

・いずれも小数点以下第8位までの数値を仮想小数点方式で右詰め・前ゼロで表示(他の産業連関表にあわせ、これまでの点以下6位までを今回から点以下8位までに変更、刊行物はこれまで同様点以下6位まで)

{	正の場合 ... 「000101432897」	
	 仮想小数点
	負の場合 ... 「-00001895433」	

フォーマット

部門分類コード							ブランク	逆行列係数 ($I - A^d$) ⁻¹	ブラ	整理コード(13)
列コード			ブラ	行コード						ク
エリア コード (1)	部門 コード (3)	一連 番号 (3)		エ リ ア コ ー ド (1)	部 門 コ ー ド (3)	一 連 番 号 (3)	投 入 係 数 (12)	ブ ラ ン ク (12)	ク (18)	"nnn21k0000008"
1			8	9			16	28	40	58

(nnn = 054,027)

部門分類コードについて

エリアコード；列・行ともに取引額表のエリアコードの下2桁目のみを使用

【列】1（日本）、2（米国）、3（日米計）

【行】1（日本）、2（米国及び日米計）

（注）行の日米計は、95年表では「3」を使用した¹が、今回は、
取引額同様「2」を使用

部門コード；9頁以降のコード表（統合中・大分類）を参照

一連番号；マトリックス展開する際の001からの通し番号

注1）逆行列係数表は、点線上段のフォーマット、投入係数表は下段のフォーマットです。

注2）フォーマットは、上記のとおりですが、それぞれの表形式は異なり、逆行列係数表は、14頁に記載の正方行列（内生部門）で、投入係数表は、13頁に記載の取引額表と同じで内生部門、付加価値部門、最終部門からなっています。

注3）投入係数表、逆行列係数表ともに、小数点以下第9位で四捨五入し、点以下8位までの数値を出力しています。

投入係数表は、数値がゼロのレコードは、ファイルに入っていない²が、逆行列係数表は、ゼロのレコードも入っている。

注4）過去の国際産業連関表のしおりでは、逆行列係数を $(I - (I - \bar{M})A)^{-1}$ 型と記載しているもの³がありましたが、いずれも誤りで、国際産業連関表（日米表、日欧表、世界表）の逆行列係数は、すべて $(I - A^d)^{-1}$ 型です。

(3) 輸出入マトリックス

次の4ファイル（175部門）からなり、各ファイル共通のフォーマットです。

F-1. 日本の輸出マトリックス

F-2. 日本の輸入マトリックス

F-3. 米国の輸出マトリックス

F-4. 米国の輸入マトリックス

レコードサイズ；200バイト+2バイト（復帰改行）

ソートキー；各ファイルとも 1.列コード 2.行コード の順に昇順ソート

データ表示方法；取引額表と同じ（2頁参照）

（金額単位；10万ドル）

コード							輸出額 または 輸入額 (12)	ブ ラ ン ク (160)	整理コード(13)
日 米 コ ー ド (1)	列コード ぜ 口 (3) (2)		ブ ラ ン ク (1)	行コード ぜ 口 部 門 コ ー ド (4) (3)		輸 入 コ ー ド (1)			"17571k0000008"
1	2	5	7	8	12	15	16	28	188

コードについて

- ・日米コード；1 日本
2 米国
- ・列（国・地域）コード
1 2 頁に記載のとおり、輸出入相手国・地域名コードのほか輸出計、輸入計等の計のコードがあり、輸入マトリックスの場合は、輸入の相手国・地域名コード等の後に関税等（輸入税）に関するコードが続いています。
- ・行（部門）コード
"001" ~ "175" 9 頁以降の部門分類表の基本分類参照
"999" "001" ~ "175" の計
- ・輸出入コード；1 輸出
2 輸入

注1) 輸入額は、マイナスの符号をはずし、正のデータとして表示

注2) データがゼロのレコードは、ファイルに入っていません。

(4) 部門分類コード表

- ・ファイル名；secnnn.U00 （nnn（部門数）= 175,054,027）
- ・レコードサイズ；68バイト+2バイト（復帰改行）

部門分類コード		ブ ラ ン ク (1)	部門分類名 漢字30文字 (60)	CR (1)	LF (1)
エリア コード (4)	部門 コード (3)				
1	5	8	9	69	70

注1) 部門分類コードは、右づめ・前ゼロ表示

注 2) 基本表、統合表いずれも、列部門（内生部門、最終需要部門）、オールブランクの区切りの 1 レコード、行部門（内生部門、粗付加価値部門）の順に入ってます。なお、上記の固定長ファイルのほか、9 頁以降に記載の分類対応関係を示した「日米共通部門分類コード表」の Excel ファイルもあわせて提供します。

4. ファイルの分割提供について

一括提供のほか、次の 8 ファイルにより分割提供します。

- ・ 基本表 2 ファイルに分割するが、1 ファイル扱い
- ・ 統合表（54 部門）
 取引額表、投入係数表、逆行列係数表 各 1 ファイル計 3 ファイル
- ・ "（27 部門）
 取引額表、投入係数表、逆行列係数表 "
- ・ 輸出入マトリックス 4 ファイルまとめて 1 ファイル扱い

1) CD-ROM の仕様

2 頁に記載の一括提供の場合と同じ

2) ファイル仕様

ファイル名 ; 取引額表 PRODnnn.U00

nnn ; 列部門数 (175、054、027)

ただし、基本表は、PROD1751.U00 (列エリアコード 0011のみ)

PROD1752.U00 (列エリアコード 0021以降)

逆行列係数表 ... INVMnnn.U00

nnn ; 列部門数 (054、027)

投入係数表 INPCnnn.U00

nnn ; 列部門数 (054、027)

輸出入マトリックス ... EI175xx.U00

xx ; 11 日本の輸出マトリックス

12 " 輸入 "

21 米国の輸出マトリックス

22 " 輸入 "

フォーマット ;

コード (15)	データ 取引額、輸出額・輸入額 逆行列係数、投入係数 (12)	CR (1)	LF (1)
1	16	28	29

各表のコード欄の内訳、ソート順位、データ表示方法等は、一括提供の場合と同じ (2 ~ 5 頁参照)

5 . 部門分類コード体系及びコード表

(1) コード体系

列コード

列コード		名 称	備 考
エリア コード	部 門 コード		
0 1 1	0 0 1	(日本 各産業) (注 1)	部門コード001～175については、「(2)日米共通部門分類表(基本分類)」を参照
	1 7 5		
	2 0 0		
0 2 1	0 0 1	(米国 各産業) (注 1)	部門コード001～175については、「(2)日米共通部門分類表(基本分類)」を参照
	1 7 5		
	2 0 0		
0 3 1	5 0 0	両国 中間需要総計	
0 4 3	0 0 1	日本 民間消費出計	(注 2) (注 3)
	0 0 2	" 政府消費支出	
	0 0 3	" 民間固定資本形成	
	0 0 4	" 公的固定資本形成	
	0 0 5	" 在庫増減	
	0 0 6	" 国内最終需要計	
	0 0 7	" ROWへの輸出(普通貿易)	
	0 0 8	" " (特殊貿易)	
	0 0 9	" " (直接購入)	
	0 1 0	" ROWへの非普通貿易(輸出) (010 = 008 + 009)	
	0 1 1	" ROWへの輸出計(007+008+009)	
0 1 2	" 調整項目		
2 0 0	" 最終需要計		
0 5 3	0 0 1	米国 民間消費出計	(注 2) (注 3)
	0 0 2	" 政府消費支出	
	0 0 3	" 民間固定資本形成	
	0 0 4	" 公的固定資本形成	
	0 0 5	" 在庫増減	
	0 0 6	" 国内最終需要計	
	0 0 7	" ROWへの輸出(普通貿易)	
	0 0 8	" " (特殊貿易)	
	0 0 9	" " (直接購入)	
	0 1 0	" ROWへの非普通貿易(輸出) (010 = 008 + 009)	
	0 1 1	" ROWへの輸出計(007+008+009)	
0 1 2	" 調整項目		
2 0 0	" 最終需要計		
0 6 3	5 0 0	両国 最終需要総計	
0 9 9	7 0 0	各国 国内生産額	

エリアコードの下1桁は、1が内生部門、3が最終需要部門、9が国内生産額を表示

注1) 54部門表及び27部門表については、日・米各産業の部門コードが、それぞれ"001～054"及び"001～027"となる(「(2)日米共通部門分類表」を参照)。

注2) "ROW"は、"Rest of the World"の略で、日本及び米国を除くその他世界をさしている。

注3) 54部門表及び27部門表の最終需要部門については、「(2)日米共通部門分類表」の11頁を参照

注4) 最終需要部門(エリアコード043, 053)の部門コード(002～012)は、95年表とは若干異なる。

行コード		名 称	備 考
行コード	部 門		
エリア	コード	コード	
0011	001 }	(日本 各産業) (注1)	部門コード001～175については、「(2)日米共通部門分類表(基本分類)」を参照
	175		
	200	日本 中間投入計	
0021	001 }	(米国 各産業) (注1)	部門コード001～175については、「(2)日米共通部門分類表(基本分類)」を参照
	175		
	200	米国 中間投入計	
	500	両国 日米中間投入計	
0031	001	日米分 関税(含輸入品商品税)	日米交易に係るもの
	002	日米分 国際運賃・保険料	〃
0041	001 }	(ROW 各産業) (注1) (注2)	部門コード001～175については、「(2)日米共通部門分類表(基本分類)」を参照
	175		
	200	ROW 中間投入計	
0051	001	ROW 関税(含輸入品商品税)	ROWからの輸入に係るもの
0061	500	全体 中間投入総計	
0072	001	各国 雇用者所得	(注3) 米国は、002～004の内訳なしで「005財産型所得」のみ
	002	各国 営業余剰	
	003	各国 資本減耗引当	
	004	各国 (控除) 経常補助金	
	005	各国 財産型所得(002+003+004)	
	006	各国 間接税	
	500	各国 粗付加価値計	
0099	700	各国 国内生産額	

エリアコードの下1桁は、1が内生部門、2が付加価値部門、9が国内生産額を表示

注1) 54部門表及び27部門表については、日・米各産業の部門コードが、それぞれ"001～054"及び"001～027"となる(「(2)日米共通部門分類表」を参照)。

注2) "ROW"は、"Rest of the World"の略で、日本及び米国を除くその他世界をさしている。

注3) 54部門表及び27部門表の付加価値部門については、「(2)日米共通部門分類表」の11頁を参照

(2) 日米共通部門分類コード表

エリア コード	基本分類 (175部門)		統集中分類 (54部門)		統合大分類 (27部門分類)			
	コード	部門名	コード	部門名	コード	部門名		
行 列	0011	001 穀類	001	耕種農業	001	農業		
	0021	002 野菜及びいも類						
	0041	003 果実						
	011	004 その他の食用作物						
	021	005 砂糖原料作物						
		006 その他の非食用作物						
	007	007 畜産(牛)	002	畜産				
	008	008 養鶏						
	009	009 その他の畜産						
	010	010 農林サービス	003	農林サービス				
	011	011 林業	004	林業	002	林業		
	012	012 漁業	005	漁業	003	漁業		
	013	013 金属鉱物	006	鉱業	004	鉱業		
	014	014 砂利・砕石・窯業原料鉱物						
	015	015 その他の非金属鉱物						
	016	016 石炭						
	017	017 原油・天然ガス	008	原油・天然ガス				
	018	018 肉・肉製品	009	食料品	005	食料品		
	019	019 酪農品						
	020	020 水産食料品						
	021	021 精穀・製粉						
	022	022 めん類						
	023	023 パン・菓子類						
	024	024 その他の農産加工食品						
	025	025 砂糖						
	026	026 植物油脂						
	027	027 動物油脂						
	028	028 調味料						
	029	029 その他の食料品						
	030	030 酒類					010	飲料
	031	031 茶・コーヒー						
	032	032 清涼飲料/製氷						
	033	033 飼料	011	飼料				
	034	034 たばこ	012	タバコ				
	035	035 製糸・紡績	013	繊維製品	006	繊維製品		
	036	036 織物・染色整理						
	037	037 ニット生地						
	038	038 床敷物						
	039	039 その他の繊維工業製品						
	040	040 衣服・身廻り						
	041	041 製材・チップ	014	製材・木製品・家具	007	パルプ・紙・木製品		
	042	042 合板						
	043	043 その他の木製品						
	044	044 家具・装備品・建具						
	045	045 パルプ	015	パルプ・紙・紙加工品				
	046	046 紙・加工紙						
	047	047 紙製容器						
	048	048 その他の紙加工品						
	049	049 新聞	016	出版・印刷	008	出版・印刷		
	050	050 印刷						
	051	051 出版						
	052	052 無機化学基礎製品	017	化学製品	009	化学製品		
	053	053 石油化学製品						
	054	054 有機化学製品						
	055	055 肥料						
	056	056 農薬						
	057	057 合成樹脂						
	058	058 化学繊維						
	059	059 医薬品						
	060	060 石鹼・合成洗剤・界面活性剤						
	061	061 化粧品・歯みがき						
	062	062 塗料・印刷インキ						
	063	063 写真感光材料						
	064	064 その他の化学製品						
	065	065 石油・石炭製品					018	石油・石炭製品
	066	066 プラスチック製品	019	プラスチック・ゴム・革製品	011	プラスチック・ゴム・革製品		
	067	067 ゴム製品						
	068	068 履き物						
	069	069 製革・毛皮						
	070	070 その他の革製品						
	071	071 ガラス・ガラス製品					020	窯業・土石製品
	072	072 セメント						
	073	073 生コンクリート						
	074	074 セメント製品及び建設用土石製品						
	075	075 陶磁器						
	076	076 炭素・黒鉛製品						
	077	077 その他の窯業・土石製品						

エリア コード	基本分類 (175部門)		統集中分類 (54部門)		統合大分類 (27部門分類)	
	コード	部門名	コード	部門名	コード	部門名
	078	鉄鋼・同一次製品	021	鉄鋼・同一次製品	013	鉄鋼・同一次製品
	079	銅・伸銅品	022	非鉄金属・同製品	014	非鉄金属・同製品
	080	アルミニウム・同圧延製品				
	081	電線・ケーブル				
	082	光ファイバーケーブル				
	083	その他の非鉄金属・同加工品				
	084	建設・建築用金属製品				
	085	その他の金属製品	023	その他の金属製品	015	その他の金属製品
	086	原動機・ボイラ	024	一般機械	016	一般機械
	087	土木建設・運搬機械				
	088	農業機械				
	089	金属加工・工作機械				
	090	その他の一般産業機械				
	091	特殊産業機械				
	092	その他の一般機械				
	093	事務用機械				
	094	民生用電子機器				
	095	民生用電気機器				
	096	電子計算機	027	電子・通信機械機器	017	電気機械
	097	電子計算機付属装置				
	098	有線電気通信機械				
	099	その他の電気通信機械				
	100	電子応用装置				
	101	電気計測器	028	電気・電子部品及び付属品	018	輸送機械
	102	半導体素子・集積回路				
	103	電子管				
	104	磁気テープ・フレキシブルディスク				
	105	回転電気機械				
	106	電球				
	107	その他の電子部品				
	108	電池				
	109	その他の電気機器				
	110	自動車	030	自動車	019	精密機械
	111	自動車部品	031	その他の輸送機械・同修理		
	112	二輪自動車・自転車				
	113	船舶・同修理				
	114	鉄道車両				
	115	航空機・同修理				
	116	その他の輸送機械(除別掲)				
	117	カメラ・複写機	032	精密機械	020	その他の製造工業製品
	118	医療用機械器具				
	119	その他の精密機械				
	120	玩具・運動用品	033	その他の製造工業製品	021	建設
	121	楽器				
	122	情報記録物				
	123	筆記具・文具				
	124	身辺細貨品				
	125	武器				
	126	その他の製造工業品				
	127	住宅新建築				
	128	非住宅新建築	034	建築及び補修		
	129	建設補修				
	130	道路及び水道・その他の公共事業	035	土木建設	022	電力・ガス・水道・熱供給 ・廃棄物処理
	131	その他の建設				
	132	電力	036	電力・ガス	023	商業
	133	ガス	037	水道・熱供給・廃棄物処理		
	134	水道・熱供給業				
	135	廃棄物処理	038	商業	024	金融・保険・不動産
	136	卸売				
	137	小売				
	138	金融	039	金融・保険	040	不動産
	139	保険				
	140	不動産業	041	運輸	025	運輸
	141	住宅賃貸料(帰属家賃)				
	142	鉄道				
	143	道路旅客輸送				
	144	道路貨物輸送				
	145	水運・同付帯サービス				
	146	航空輸送・同付帯サービス				
	147	その他の運輸付帯サービス				

エリア コード	基本分類 (175部門)		統集中分類 (54部門)		統合大分類 (27部門分類)	
	コード	部門名	コード	部門名	コード	部門名
	148	郵便	042	通信・放送	026	サービス
	149	通信				
	150	放送				
	151	公務	043	公務		
	152	教育	044	教育・研究		
	153	研究				
	154	医療・保健・介護	045	医療・保健		
	155	獣医療				
	156	その他の非営利団体	046	その他の非営利団体		
	157	広告	047	広告・情報サービス		
	158	情報サービス				
	159	機械器具賃貸業	048	物品賃貸サービス		
	160	貸自動車				
	161	その他の物品賃貸業				
	162	自動車修理	049	修理		
	163	その他の修理				
	164	建物サービス	050	その他の対事業所サービス		
	165	法務・財務・会計サービス				
	166	その他の対事業所サービス				
	167	映画	051	娯楽サービス		
	168	娯楽サービス				
	169	飲食店	052	飲食店		
	170	旅館・その他の宿泊所	053	その他の対個人サービス		
	171	理容・美容業				
	172	その他の対個人サービス				
	173	くず・中古品	054	分類不明・その他	027	分類不明・その他
	174	家計外消費支出				
	175	分類不明・その他				
	200	中間投入計	200	中間投入計	200	中間投入計
	200	中間需要計	200	中間需要計	200	中間需要計
行 0031	001	関税(日米交易財)	001	関税(日米交易財)	001	関税(日米交易財)
行 0031	002	国際運賃・保険料(日米交易財)	002	国際運賃・保険料(日米交易財)	002	国際運賃・保険料(日米交易財)
行 0051	001	関税(対R.O.W.輸入財)	001	関税(対R.O.W.輸入財)	001	関税(対R.O.W.輸入財)
行 0061	500	中間投入総計	500	中間投入総計	500	中間投入総計
列 031	500	中間需要総計	500	中間需要総計	500	中間需要総計

〔最終需要部門〕

列 043	001	民間消費支出	001	民間消費支出	001	民間消費支出
053	002	政府消費支出	002	政府消費支出	002	政府消費支出
	003	民間固定資本形成	003	民間固定資本形成	003	民間固定資本形成
	004	公的固定資本形成	004	公的固定資本形成	004	公的固定資本形成
	005	在庫増減	005	在庫増減	005	在庫増減
	006	国内最終需要計	006	国内最終需要計	006	国内最終需要計
	007	ROWへの輸出(普通貿易)	007	ROWへの輸出(普通貿易)	007	ROWへの輸出(普通貿易)
	008	ROWへの輸出(特殊貿易)	008	ROWへの非普通貿易(輸出)	008	ROWへの非普通貿易(輸出)
	009	ROWへの輸出(直接購入)				
	010	ROWへの非普通貿易(輸出)(008+009)				
	011	ROWへの輸出計(007+008+009)	009	ROWへの輸出計	009	ROWへの輸出計
	012	調整項目	010	調整項目	010	調整項目
	200	最終需要計	200	最終需要計	200	最終需要計
列 063	500	最終需要総計	500	最終需要総計	500	最終需要総計
列 099	700	国内生産額	700	国内生産額	700	国内生産額

〔付加価値部門〕

行 0072	001	雇用者所得	001	雇用者所得	001	雇用者所得
	002	営業余剰	002	財産型所得	002	財産型所得
	003	資本減耗引当				
	004	(控除)経常補助金				
	005	財産型所得				
	006	間接税	003	間接税	003	間接税
	500	粗付加価値計	500	粗付加価値計	500	粗付加価値計
行 0099	700	国内生産額	700	国内生産額	700	国内生産額

(3) 輸出入マトリックス用列(国・地域名)コード表

- (1)日本の輸出マトリックス			- (1)日本の輸入マトリックス			- (2)米国の輸出マトリックス			- (2)米国の輸入マトリックス		
NO	国・地域名	NO	国・地域名	NO	国・地域名	NO	国・地域名	NO	国・地域名	NO	国・地域名
02	(普通貿易)米国	01	(普通貿易)日本	02	(普通貿易)米国	01	(関税)米国	01	(普通貿易)日本	01	(普通貿易)日本
03	(普通貿易)英国	03	(普通貿易)英国	03	(普通貿易)英国	03	(関税)英国	03	(普通貿易)英国	03	(関税)英国
04	(普通貿易)仏国	04	(普通貿易)仏国	04	(普通貿易)仏国	04	(関税)仏国	04	(普通貿易)仏国	04	(関税)仏国
05	(普通貿易)独国	05	(普通貿易)独国	05	(普通貿易)独国	05	(関税)独国	05	(普通貿易)独国	05	(関税)独国
06	(普通貿易)韓国	06	(普通貿易)韓国	06	(普通貿易)韓国	06	(関税)韓国	06	(普通貿易)韓国	06	(関税)韓国
07	(普通貿易)ロシア	07	(普通貿易)ロシア	07	(普通貿易)ロシア	07	(関税)ロシア	07	(普通貿易)ロシア	07	(関税)ロシア
08	(普通貿易)シンガポール	08	(普通貿易)シンガポール	08	(普通貿易)シンガポール	08	(関税)シンガポール	08	(普通貿易)シンガポール	08	(関税)シンガポール
09	(普通貿易)タイ	09	(普通貿易)タイ	09	(普通貿易)タイ	09	(関税)タイ	09	(普通貿易)タイ	09	(関税)タイ
10	(普通貿易)フィリピン	10	(普通貿易)フィリピン	10	(普通貿易)フィリピン	10	(関税)フィリピン	10	(普通貿易)フィリピン	10	(関税)フィリピン
11	(普通貿易)インドネシア	11	(普通貿易)インドネシア	11	(普通貿易)インドネシア	11	(関税)インドネシア	11	(普通貿易)インドネシア	11	(関税)インドネシア
12	(普通貿易)台湾	12	(普通貿易)台湾	12	(普通貿易)台湾	12	(関税)台湾	12	(普通貿易)台湾	12	(関税)台湾
13	(普通貿易)中国	13	(普通貿易)中国	13	(普通貿易)中国	13	(関税)中国	13	(普通貿易)中国	13	(関税)中国
14	(普通貿易)カナダ	14	(普通貿易)カナダ	14	(普通貿易)カナダ	14	(関税)カナダ	14	(普通貿易)カナダ	14	(関税)カナダ
15	(普通貿易)その他EU (12カ国)	15	(普通貿易)その他EU (12カ国)	15	(普通貿易)その他EU (12カ国)	15	(関税)その他EU (12カ国)	15	(普通貿易)その他EU (12カ国)	15	(関税)その他EU (12カ国)
16	(普通貿易)中南米	16	(普通貿易)中南米	16	(普通貿易)中南米	16	(関税)中南米	16	(普通貿易)中南米	16	(関税)中南米
17	(普通貿易)大洋州	17	(普通貿易)大洋州	17	(普通貿易)大洋州	17	(関税)大洋州	17	(普通貿易)大洋州	17	(関税)大洋州
18	(普通貿易)中近東	18	(普通貿易)中近東	18	(普通貿易)中近東	18	(関税)中近東	18	(普通貿易)中近東	18	(関税)中近東
19	(普通貿易)その他世界	19	(普通貿易)その他世界	19	(普通貿易)その他世界	19	(関税)その他世界	19	(普通貿易)その他世界	19	(関税)その他世界
20	(普通貿易)輸出計	20	(普通貿易)輸出計	20	(普通貿易)輸出計	20	(関税)輸出計	20	(普通貿易)輸出計	20	(関税)輸出計
21	(特殊貿易)輸出	21	(特殊貿易)輸出	21	(特殊貿易)輸出	21	(特殊貿易)輸出	21	(特殊貿易)輸入	21	(特殊貿易)輸入
22	(直接購入)輸出	22	(直接購入)輸出	22	(直接購入)輸出	22	(直接購入)輸出	22	(直接購入)輸入	22	(直接購入)輸入
23	(非普通貿易)輸出計	23	(非普通貿易)輸出計	23	(非普通貿易)輸出計	23	(非普通貿易)輸出計	23	(非普通貿易)輸入計	23	(非普通貿易)輸入計
99	(合計)輸出合計	99	(合計)輸出合計	99	(合計)輸出合計	99	(合計)輸出合計	99	(合計)輸入合計	99	(合計)輸入合計

注)今回、米国の輸出・入コードに「21」、「22」が新たに設定され、日米共通コード体系になりました。

[参考] 日米国際産業連関表の表形式について

図 - 1 取引額表 (投入係数表)

		日本			米国			日本			米国					
		中間需要計	中間需要計	中間需要合計	国内 F D	ROW 輸への	F D 計	国内 F D	ROW 輸への	F D 計	最終需要総計	国内生産額				
コード		011-001 ~ 175	011-200	021-011 ~ 175	021-200	031-500	043-001 ~ 006	043-007 ~ 011	043-012	043-200	053-001 ~ 006	053-007 ~ 011	053-012	053-200	063-500	099-700
日本	0011-001 ~ 0011-175	日本国産品表		日米交易部分					調整項							
	中間投入計	0011-200														
米国	0021-001 ~ 0021-175	米日交易部分		米国産品表									調整項			
	中間投入計	0021-200														
日米中間投入計		0021-500														
関税		0031-001														
運賃・保険料		0031-002														
ROW	0041-001 ~ 0041-175	日本 ROWからの輸入		米国 ROWからの輸入												
	中間投入計	0041-200														
関税		0051-001														
中間投入総計		0061-500														
付加価値		0072-001 ~ 0072-006	日本 V A	米国 V A												
V A 計		0072-500														
国内生産額		0099-700	日本の国内生産額	米国の国内生産額												

注 1) 統合表の場合には、上図の列、行コードの "175" が "054" または "027" となり、付加価値部門及び最終需要部門については、「 4 . (2) 日米共通部門分類コード表」の 1 1 頁を参照してください。

注 2) ファイルでは、列・行の 1 要素で 1 レコードを形成し、列方向に出力しています。

■ で示したグレー部分は、もともとデータがありません。

グレー部分のほか取引のない (要素の値がゼロの) レコードは、ファイルには入っていません。

いっぽう、ファイルには、■ で示した架空計のデータが入っています。

注 3) 列・行コードともに、「 - 」の前がエリアコード、後が部門コードで、エリアコードの下 1 桁は、以下のとおり部門区分を表します。

1 ; 内生部門 2 ; 付加価値部門 3 ; 最終需要部門 9 ; 国内生産額

注 4) 投入係数表 (統合表のみ、基本表はナシ) の場合、取引額表と同じ表形式ですが、エリアコードは、列・行ともに取引額表のエリアコードの下 2 桁目の 1 桁のみを使用しています。

図 - 2 逆行列係数表

		日 本		日 本 計	米 国		米 国 計	日 米 計
行コード	1	1	1	1	2	2	2	3
列コード	0 ~ 0	0	2	0	0 ~ 0	0	2	5
	0 5	5	0	0	0 5	5	0	0
日本	1 - 0 0 1 }							
	1 - 0 5 4							
日本計	1 - 2 0 0							
米 国	2 - 0 0 1 }							
	2 - 0 5 4							
米国計	2 - 2 0 0							
日米計	2 - 5 0 0							

注1) 27部門表の場合、上図の列・行コードの"054"が"027"に替わります。

注2) ファイルでは、列・行の1要素で1レコードを形成し、列方向に出力しています。

注3) 行コードの日米計は、95年表では「3-500」でしたが、基本表にあわせ「2-500」に変更されました。

図 - 3 輸出入マトリックス

F - 1 日本の輸出マトリックス

列コード \ 行コード	0	1	2	2	2	2	9
	2	...	9	0	1	2	3
0 0 1 }							
1 7 5							
9 9 9							

F - 2 日本の輸入マトリックス

列コード \ 行コード	0	1	2	2	2	2	3	4	5	9
	2	...	9	0	1	2	3	2	...	9
0 0 1 }										
1 7 5										
9 9 9										

F - 3 米国の輸出マトリックス

列コード \ 行コード	0	1	2	2	2	2	9
	1	...	9	0	1	2	3
0 0 1 }							
1 7 5							
9 9 9							

F - 4 米国の輸入マトリックス

列コード \ 行コード	0	1	2	2	2	2	3	4	5	9
	1	...	9	0	1	2	3	1	...	9
0 0 1 }										
1 7 5										
9 9 9										

F - 3 , F - 4の列コード0 2及び3 2は自国(米国)コードのため、存在しません。

注) 各表とも、列・行の1要素で1レコードを形成し、列方向に出力しています。
要素の値がゼロのレコードは、ファイルに入っていません。